

米国 外需は1～3月期の実質GDPを1%程度押し上げ (09年2月貿易統計)

発表日: 2009年4月10日(金)

～同期の実質GDP成長率は設備投資、在庫投資の下振れにより前期比年率▲5%程度を見込む～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

03-5221-5001

○09年2月の貿易収支(サービスを含む国際収支ベース、季節調整済)は259.65億ドルの赤字と99年11月以来の水準まで改善し、赤字額は市場コンセンサスの▲360億ドルを大幅に下回った(前月比▲28.3%)。サービス収支の黒字額が増加し、財収支の赤字額が大幅に減少した。

○2009年1、2月の実質貿易赤字額は2008年10～12月期の水準から縮小しており、2009年1～3月期の純輸出(外需)はGDP成長率を前期比年率で1%程度押し上げると見込まれる。同期には実質個人消費もプラスに転じると予想されるが、設備投資、在庫投資などの下振れによって、実質GDP成長率は前期比年率▲5%程度のマイナス成長が見込まれる。

○財別の輸出入動向をみると、輸出は民間航空機、金、燃料油、石油製品、石炭などが大幅に減少した一方で、製薬、自動車、銑鉄、半導体、大豆、化学製品、天然ガス、プラスチック、通信関連機器等の増加により、前月比+3.2%となった。自動車は、カナダ、メキシコ、ドイツ、サウジアラビア向けに増加した。

一方、輸入は、産業資材、資本財、自動車、消費財の減少により前月比▲5.9と減少した。資本財では航空機エンジン、通信設備が増加したが、掘削機械、発電・同部品、産業機械、電気設備が減少した。消費財では薬品が増加した一方、玩具・ゲーム・スポーツ用品、家具・家事用具、アパレル綿製品、靴、宝石、TVなどが減少した。産業資材では天然ガスが増加したが、原油、燃料油、液化石油ガスなどが減少した。原油輸入は輸入価格が1バレル=39.22ドル(前月39.81ドル)と下落し、輸入量が2億5487.4万バレルと減少したことから、季節調整後の数字は前月比▲4.9%となった。

○地域別収支では、対中国赤字額が▲141.96億ドル(前年比▲22.7%)と減少したが、貿易赤字全体に占める割合は49.7%と上昇した。対NAFTAは▲49.13億ドル(同▲58.9%)、対欧州が▲33.41億ドル(同▲51.4%)、対日は▲22.06億ドル(同▲67.9%)、原油・資源価格の下落と需要の縮小によって対OPECが▲20.84億ドル(同▲84.2%)、対NIESは0.33億ドルと黒字になった。

○輸出は、変動の大きい民間航空機に押し上げられ上振れる月があるものの、海外経済の悪化を背景に基本的には減少傾向を辿ると予想される。一方、輸入は、世界経済の悪化や融資基準の厳格化等による企業部門などの国内最終需要の縮小、それに伴う在庫の削減を背景に大幅な減少を続けると見込まれる。この結果、2009年前半の純輸出(外需)はプラス寄与を続けるとみられ、国内最終需要の失速による実質GDP成長率の下ぶれ幅を緩和する要因となろう。

貿易収支 (U.S. International Trade in Goods and Services)

	貿易収支			輸出		輸入			
	Balance	財 Goods	サービス Services	Exports	財 Goods	Imports	財 Goods		
08/06	▲591.35	▲717.83	+126.48	+3.8	(+20.1)	+4.7	+2.1	(+14.0)	+2.4
08/07	▲625.04	▲746.30	+121.26	+2.7	(+19.6)	+3.9	+3.5	(+16.6)	+4.0
08/08	▲602.44	▲715.73	+113.29	▲1.7	(+15.9)	▲2.4	▲2.2	(+13.9)	▲3.1
08/09	▲581.34	▲700.51	+119.17	▲6.6	(+7.7)	▲8.5	▲5.8	(+6.9)	▲6.1
08/10	▲580.36	▲695.63	+115.27	▲2.6	(+4.0)	▲2.8	▲1.9	(+3.7)	▲2.0
08/11	▲424.51	▲532.91	+108.40	▲6.1	(▲3.1)	▲7.3	▲11.9	(▲10.7)	▲13.7
08/12	▲398.99	▲512.64	+113.65	▲5.8	(▲9.3)	▲8.5	▲5.8	(▲15.4)	▲6.9
09/01	▲362.03	▲469.28	+107.25	▲5.9	(▲16.5)	▲7.3	▲6.7	(▲22.8)	▲7.7
09/02	▲259.65	▲368.58	+108.93	+1.6	(▲16.9)	+3.0	▲5.1	(▲28.8)	▲5.9

(注1) 季節調整値。貿易収支の単位は億ドル。  
(注2) 輸出入の数字は前月比。カッコ内は前年同月比。

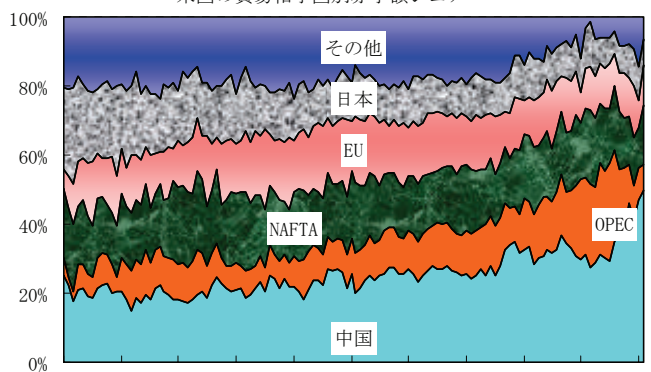
	輸出				輸入					
	産業資材 *1	資本財 *2	自動車 *3	消費財 *4	産業資材	資本財	自動車	消費財		
08/06	+4.9	+7.4	+2.9	+5.7	+5.3	+2.4	+9.4	▲3.4	+0.3	▲1.2
08/07	+4.0	+4.2	+2.2	+12.7	+5.3	+3.8	+8.8	+1.5	▲0.4	▲0.6
08/08	▲2.2	▲2.3	+2.0	▲13.9	▲5.9	▲2.9	▲7.6	▲1.9	▲5.7	+6.1
08/09	▲9.0	▲11.8	▲9.9	▲1.4	▲3.7	▲6.6	▲11.5	+1.2	▲4.3	▲7.7
08/10	▲2.6	▲4.4	▲0.4	▲2.3	▲1.2	▲1.6	▲0.8	▲3.6	▲4.7	+0.3
08/11	▲7.1	▲13.6	▲3.8	▲10.8	▲1.7	▲13.8	▲25.4	▲6.0	▲6.5	▲8.7
08/12	▲8.5	▲16.7	▲1.4	▲14.0	▲6.1	▲6.6	▲11.7	▲3.9	▲9.8	▲2.1
09/01	▲7.7	▲3.1	▲8.0	▲28.3	▲7.3	▲7.8	▲10.7	▲6.1	▲22.1	▲0.9
09/02	+3.2	+0.6	+0.5	+8.5	+11.6	▲5.9	▲9.3	▲6.0	▲8.2	▲3.9

(注) 季調済前月比伸び率。  
\*1: Industrial supplies and materials      \*2: Capital goods, except automotives  
\*3: Automotives vehicles, parts and engines      \*4: Consumer goods, except automotives

	輸出					輸入						
	カナダ	中南米	EU	太平洋工業国	日本	カナダ	中南米	EU	太平洋工業国	日本		
08/06	+19.2	+8.8	+29.2	+21.0	+12.4	+10.3	+15.2	+11.1	+21.0	+9.9	+1.6	+2.5
08/07	+26.0	+19.5	+30.8	+26.3	+23.3	+16.2	+20.5	+24.7	+27.6	+11.1	+4.3	▲6.2
08/08	+16.7	+3.2	+28.1	+16.6	+12.2	+25.4	+11.7	+10.0	+13.6	+0.7	+3.9	▲7.0
08/09	+8.8	+6.0	+20.6	+1.0	+4.7	+5.1	+11.0	+13.4	+11.0	+7.7	+6.9	▲2.5
08/10	+4.7	▲5.1	+20.2	+5.0	▲0.8	▲2.8	+2.2	▲2.6	+3.2	▲3.8	+0.5	▲15.1
08/11	▲5.8	▲15.4	+1.9	▲1.1	▲10.3	▲1.6	▲16.1	▲19.5	▲19.2	▲15.7	▲11.1	▲19.2
08/12	▲11.4	▲14.6	▲3.5	▲3.4	▲26.3	▲14.4	▲15.1	▲22.9	▲20.0	▲5.3	▲9.6	▲16.6
09/01	▲21.3	▲27.9	▲14.4	▲17.0	▲28.5	▲22.8	▲27.0	▲34.3	▲30.9	▲22.7	▲15.4	▲29.5
09/02	▲23.8	▲26.4	▲22.8	▲21.3	▲27.4	▲25.7	▲33.8	▲37.0	▲33.3	▲28.1	▲30.3	▲48.8

(注1) 未季調前年比伸び率。  
(注2) 中南米はメキシコを含む(原統計の「中南米」は含まない)。

米国の貿易相手国別赤字額シェア

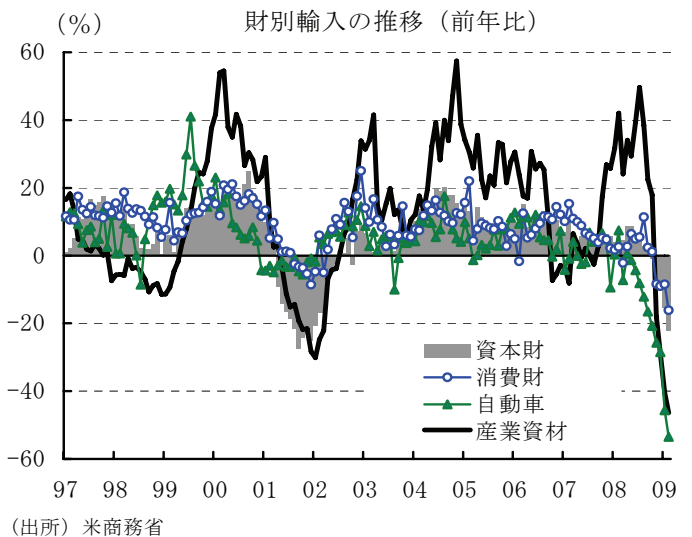
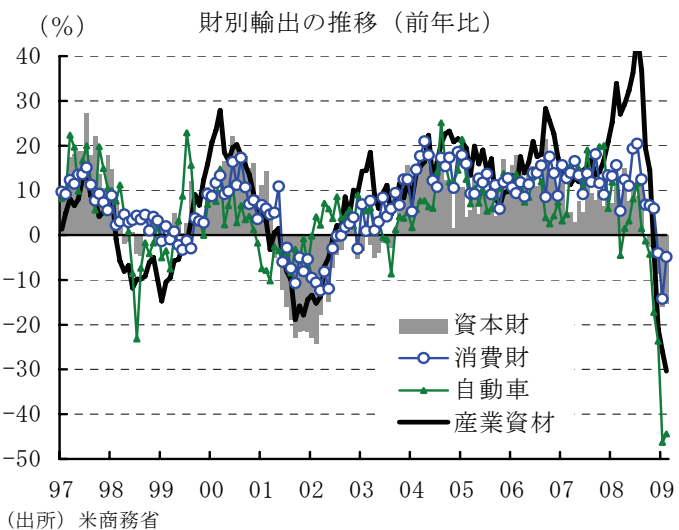
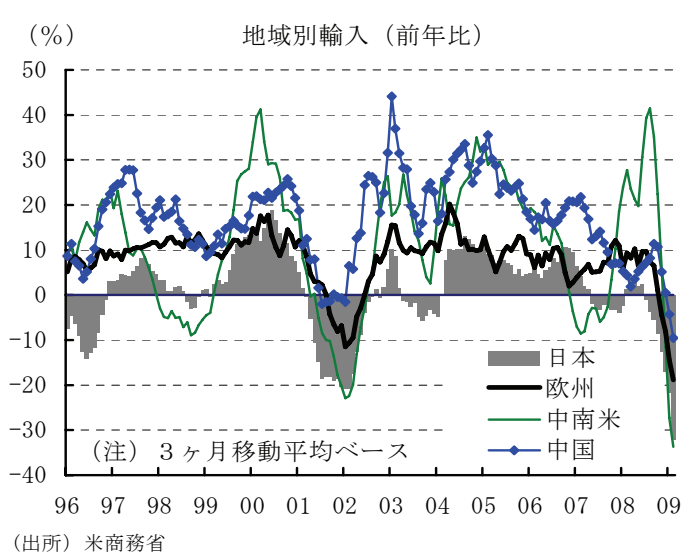
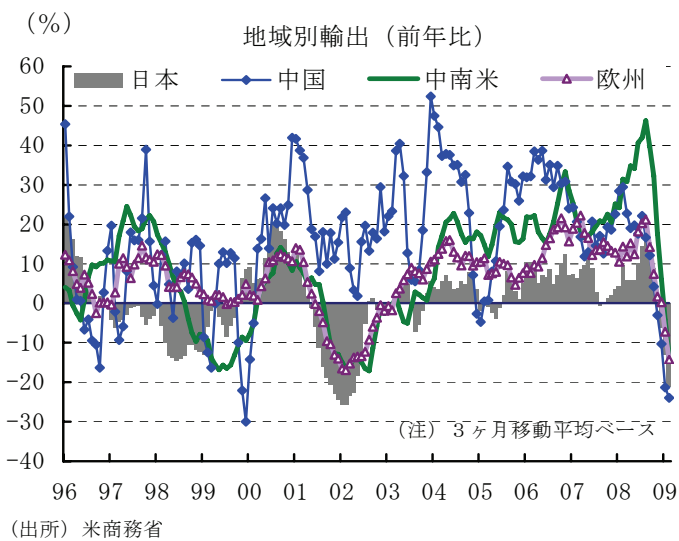
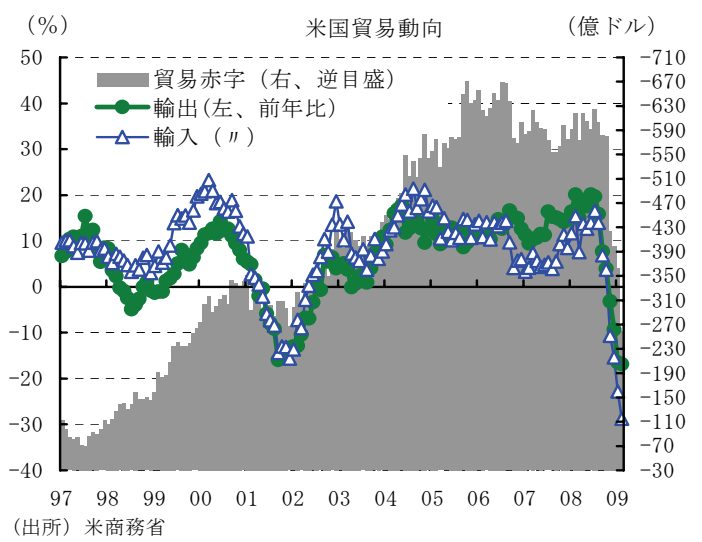
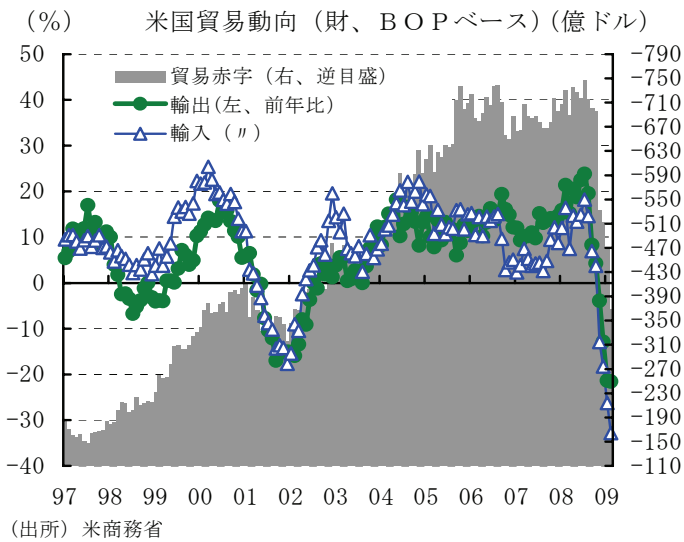


(出所) 米商務省

ドル実効レート推移



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。